

「みどり豊かな田原を楽しむ」

～地域の資源を活かした取り組み～

田原活性化への取り組み(三つの登り口)

- ◆1) イベントで魅力を高める
- ◆2) 配食サービスで住みよさを充実
- ◆3) まず、足もとの地域資源を見つめなおす

田原の地域資源 (知って、好きになり、楽しむ)

大阪中心部へ近さ(二つの鉄道、二つのバス)

リーズナブルな地価(計画的な住宅地開発、空地の点在)

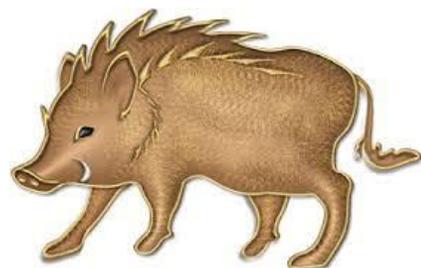
恵まれた自然環境、里山と隣接、歴史と文化

活発なボランティア活動、地域のネットワーク

8000年前(縄文前期BC6000年)からの歴史と自然



カスミサンショウウオ



第7回575-四條畷市俳句コンテスト 教育長賞
田原台何万びきの赤とんぼ
田原小 早川美咲さん

田原に新たなブランド(ものがたり)を創ろう

～目的:若い世代に移り住んでもらえるように～

- ◆二つの鉄道 いいとこどり 近鉄奈良線/JR片町線
- ◆みんな昆虫にムチュウの街 里山/公園/住宅
- ◆子どももシニアも安心の街 青パト/登下校見守り/シニアの散歩
- ◆有償助け合いサービスの街 シニア/ボランティア

◆討論 遊休農地の拡大、放置山林の活用の方策は？

子どもの学力向上、シニア人材など地域資源を活かす必要

結論 シイタケづくりにより財源を生み出し、まずイベントを開催
その過程でメンバーを拡大し、資源活用事業に順次着手し
新たなブランドを創りあげよう！

四條畷市公募型協働のまちづくり提案事業

シイタケ栽培を軸にした 里山保全と地域活性化推進事業



田原シャングリラの会

田原地域の現状

- 豊かな自然環境や歴史が残る
 - 里山の荒廃、遊休農地の増大
- 各種団体、グループの形成と活動が活発
 - コミュニティーの形成は足踏み状態

田原の〈資源〉

- 恵まれた自然と生き物
- 縄文遺跡等の歴史
- 多くの活動団体、グループ
- 多彩な人材
- おいしい農産物
- 身近な里山



《事業の目的》シイタケ栽培から広がる田原の活性化

- シイタケ栽培・生き物飼育(里山の復活)
- 遊休農地を活用した野菜・米作り(農業体験)
- 田原の<資源>の活用(地域の賑わいとコミュニティづくり)

➡収穫祭、田原縄文きのご祭り

➡他のイベントとコラボ

幼児から高齢者まで
子どもの楽しみと
高齢者の生きがい

田原の良さ
面白さ、楽しさを
外部にアピール

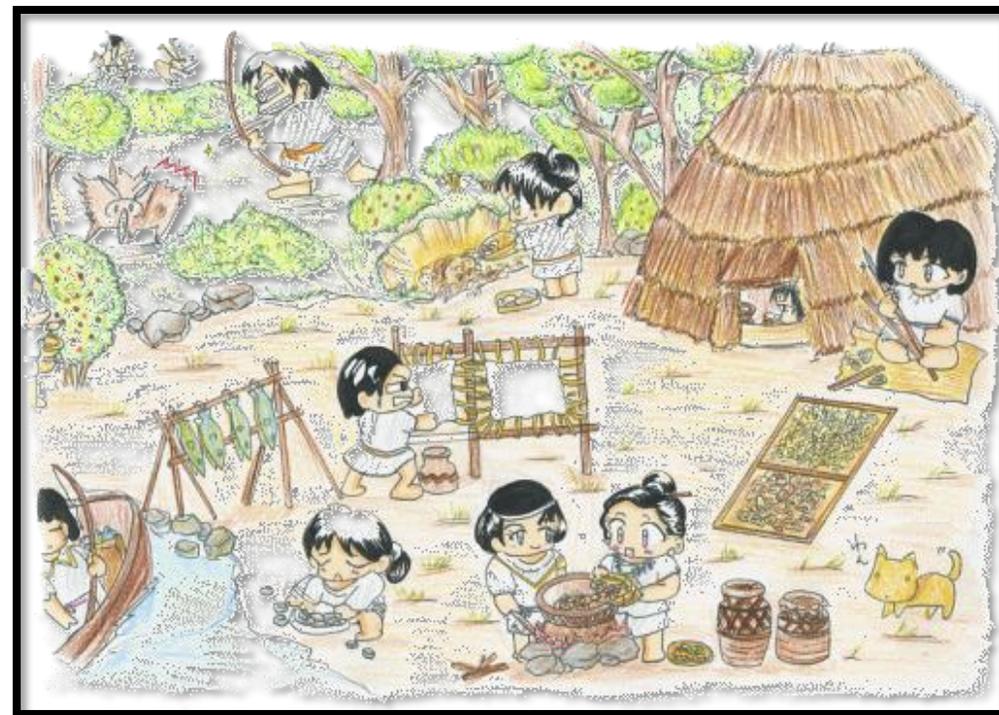


田原縄文きのご祭

実り豊かな里山と縄文遺跡のある田原。
シイタケ栽培の収穫、榾木やシイタケ販売による収益で、
昔の田原の人々の暮らしをしのび、里山の恵みを体感する。

- 田原縄文遺跡の紹介
- 縄文人の暮らしの体験
 - ドングリ試食、貫頭衣づくり
 - 縄文の住まいづくり等
- 里山と田畑の恵みのバーベキュー
- 縄文の住まいづくり
- 榾木の販売

31年秋または翌年春、戎公園で開催予定



シイタケ 栽培 作業 開始



榎木置場



整地作業開始



整地完了



玉切り



150本の原木



シイタケ菌の駒打ち



槽木運び



150本の槽木伏せ込み完了

一方
畑では...



畑の草刈り完了



草を焼却



耕された畑